

意見交換会にご参加ください

日時	10月8日(水)	10月10日(金)	10月14日(火)	10月15日(水)
	18時30分～(1時間30分程度)			
会場	生保内 田沢湖総合開発センター	神代 就業改善センター	西明寺 西木総合開発センター	榎木内 榎木内公民館
対象	仙北市民 ※お子さまの託児が必要な場合は、あらかじめ問合せ先までご相談ください。 ※居住地以外の会場にも参加できます。			
内容	中学校統合の組合せは？ 時期は？ どのように？ など、 保護者および教職員のアンケート結果や意見をふまえて話し合います。			

学校適正配置検討委員会を開催

9月1日、今年度1回目の委員会を開催しました。会議では、中学校統合の組合せおよび時期に関し、右ページに掲載のアンケート結果などをふまえ、今後の進め方などを協議しました。

【主な検討内容・意見】

- [4校で令和11年度に統合]が望ましい。今後、これを案として提示し意見交換を行うべき。
- 統合年度に高校受験を迎える生徒など、不安を感じる児童生徒への配慮が必要である。
- 学校が無くなる地域の衰退を心配する声に対し、将来ビジョンを示していくことが重要である。

生保内・神代・西明寺・榎木内学区 園・小・中保護者合同意見交換会を開催

9月22日、神代就業改善センターで、4学区の各校(園)の保護者代表32人により、地域ごとに異なる事情を理解し合い、望ましい中学校統合の組合せおよび時期に関し、意見を交わしました。

【主な意見】

- 4校統合だと、多様な人間関係の経験や部活動にも活気が生まれプラス面が多い。
- スクールバス運行は、負担軽減や安全性に十分な配慮をしてほしい。
- 11年統合の方が、神代小改修後の新校舎で落ち着いた状態で学校生活をスタートできる。
- 統合校での生活にスムーズになじめるよう統合前の交流事業を丁寧に行ってほしい。



今後の進め方(予定)

12月	市内すべての園・小・中保護者および地域住民を対象に、計画(案)を提示し意見交換
～1月	学校適正配置計画を策定
計画策定後は、統合準備委員会を設置し、校名・校歌・校章・制服・学用品・通学体制・教育課程などの検討や、校舎整備、統合前児童生徒交流事業、閉校記念事業などを実施します。	

学校適正配置に関する取り組み状況は、市ホームページでご覧いただけます(学校適正配置計画(案)、これまでの学校適正配置検討委員会の会議記録、意見交換会の開催結果、アンケート結果など)。



教育委員会
学校適正配置準備室
☎ 43-3381

学校適正配置計画の策定状況

小・中学校の統廃合を盛り込む本計画は、今年度内の策定を目指し最終段階に入っています。
残る調整課題は、「中学校統合の組合せおよび時期」です。今後、これまでに行った統合関係学区の保護者および教職員アンケートなどを参考に計画(案)をまとめ、市民意見交換会などを経て最終判断します。

計画(案案) ※詳しくは広報せんぼく 4月号に掲載しています。

	小学校	中学校
組合せ	3校統合 角館 生保内 神代 西明寺 榎木内	3校統合 角館 生保内 神代 西明寺 榎木内 または 4校統合 角館 生保内 神代 西明寺 榎木内
統合時期	令和10年度	令和10年度または令和11年度
統合校舎	西明寺小(改修)	神代小(改修)



中学校統合の組合せに関するアンケート結果(5～7月)

設問(選択式)	保護者回答	教職員回答(教育的観点)
生保内中学校について、望ましいと思うのはどちらですか。	生保内学区の園・小・中保護者 回答：107世帯/対象190世帯 (回答率：56.3%)	小・中学校教職員 回答：142人/対象155人 (回答率：91.6%)
①単独で存続(=3校統合)	51世帯(47.7%)	41人(28.9%)
②統合(=4校統合)	54世帯(50.5%) 最多	99人(69.7%) 最多
③その他	2世帯(1.8%)	2人(1.4%)
【統合の回答に多かった理由】		
・多様な考えに触れ、切磋琢磨できるなど、学びの環境面でプラスになる。 ・学校生活、行事、部活動などが活発化する(少人数ではできないことがある)。		

中学校統合の時期に関するアンケート結果(5～7月)

設問(記述式)	保護者回答	教職員回答(教育的観点)
中学校統合の時期について、ご意見があればお書きください。 ※1	生保内・神代・西明寺 ・榎木内学区の園・小・中保護者 回答：218世帯/対象523世帯 (回答率：41.7%) ※2	小・中学校教職員 回答：142人/対象155人 (回答率：91.6%)
①令和10年度	30世帯(18.2%)	31人(21.8%)
②令和11年度	35世帯(21.2%) 最多	105人(74.0%) 最多
③その他 ※3	23世帯(13.9%)	6人(4.2%)
未記入(意見なし)	77世帯(46.7%)	—
【令和11年度の回答に多かった理由】		
・10年度に仮校舎(現神代中)に統合するよりも、11年度に新校舎(神代小改修)に統合する方が移転が1度で済み、子ども達も教職員も負担が少なく落ち着いた学校生活をスタートできる。		

※1 記述内容から望ましい統合年度を分類

※2 生保内学区は「統合が望ましい」と回答した54世帯のみ集計

※3 ほとんどが「不安なく準備してもらえればいつでも良い」という趣旨の回答